

やすらぎのじどうもじをあなたに

2018じどうもじカレンダー

2012年からじどうもじカレンダーを製作して7年目となりました。誰にでも読める文字、心に伝える文字、見て楽しめる文字にこだわり、筆に親しんでいった結果、一般的な書道から飛び出して我が文字で楽しんで、いつも寄り添う心で書くことが「じどうもじ」の

誕生となり、以来多くの方に見ていただけるようになりました。2018年じどうもじカレンダーは、その原点に立ち返り「よりそい」をテーマにいたしました。一人でも多くの方に愛されるようなカレンダーにしていきたいと思えます。幸せを願いながら、ご希望の方は別紙をご覧ください。



2018年じどうもじカレンダー
テーマ「よりそい」

2012年から『じどうもじカレンダー』の製作をはじめ今年で7年目となりました。じどうもじを書くとき、いつも心を込めながら書いています。いつも誰かに寄り添えるようにじどうもじで寄り添いたいと思っています。2018年のテーマは「よりそい」にいたしました。これからも、人々の心に寄り添える「じどうもじ」を書き続けたいと思っています。2018年があなたにとって、幸せでありますように。

書家 夕深
じどうもじ 編集者



自然と共に

NO. 14
2017年9月15日発行
発行者 夕深
981-1107
仙台市太白区
袋原郵便局留
問い合わせ先
090-6221-6611

日本では、古くから五穀の収穫を祝う風習がありました。その年の収穫物はそれからの一年を養う大切な蓄えとなることから、大事な行事として飛鳥時代の皇極天皇の御代に始められたと伝えられている新嘗祭※があります。収穫するまで簡単では無かった時代から代々受け継がれてきました。しかし、今ではお金を持ってお店へ行けば簡単に食べたり、パソコンや携帯電話で注文すれば、家に居て何でも届けてくれるという時代に変化してきました。感謝の心は、便利の中に生きていると育ちにくいかもしれません。年々気候の変化や自然災害が起こる中、穀物が実ってくれる有り難さを

穀物がみより豊かになこう



知ると、自然へ感謝の心を普段から意識しなければ、と思うこの頃です。

※新嘗祭【いなめさい】
（しんじょうさい）とも。

新穀を神にささげて収穫を感謝し、きたるべき年の豊穰を祈る祭儀。古代からあり、宮中では旧二月第2の卯の日に天皇自ら祭儀を行った。2003年以後は二月23日と定められ、戦後は多くの神社でも行われるようになった。（大辞林参照）

閃き(ひらめき)

様々な職業の方とお話をしているとき「あるときパッと

ひらめくときがあるんです」と聞くことがあります。そのひらめきとは何でしょうか。自分では思いも寄らなかったことが浮かんだりアイデアが浮かんだり。辞書には、「一瞬するどく光ること」とも書かれています。ひらめく人の共通点は、前向きに物事を考える気持ちが大いなことと純粋に何か一心に向かっている人、そのように思います。心が一生懸命考えていると、きつと自分以外の何かが教えてくれるに違いない、と閃きを語る人を見て思うのです。また、ひらめいた時



のことを話す目がキラキラして見えるのも、その一瞬やってきた光を受け取った感動がその人を輝かせるのかもしれない。あるとき「ひらめき」について考える機会があり「ひらめき」とじどうもじを書いていると可愛く書けました。ひらめきも良い「氣」の流れなのでしよう。

一豆入魂

数年前、あるイベントに出展していたとき「一豆入魂」と書いて欲しいという方が

いらつしやいました。その意味を訪ねると、お豆腐屋さんのご主人で、一粒の豆にも魂を込めて豆腐作りをしているというお話を伺いとても感動したことがありました。先日、手書きのイベントでご主人が再び来てくださり、「豆腐百年」と書いて欲しいです、とおっしゃいました。その意図は、「創業百年になりました。先代と百年は続けるからね」と約束をしたのでそれが果たせました。私ももう年なので身体がきつくてね、」とそのお豆腐屋さんの言葉が忘れられません。

一生懸命生きている姿そのものがお豆腐になつて、そんな気がします。「一豆入魂」と「豆腐百年」の美しいお豆腐は味だけでなく、きつと人の心まで元気にするお豆腐なんだろうなと思います。



ありがとうの縁

先日、高等学校トライアルセミナーで講話をして参りました。「自分を活かして生きる」の題名で、じどうもじをプロジェクトで映しながらお話をしましたが、そんな中で一生懸命メモを取っている生徒さんを見て関心しました。そして、その後に「検索したら見つけました」とネットを通じてメッセー

ジが届き、じどうもじを気に入ってくださったことや講話の感想をいただきまし。学校からも生徒の皆さん一人一人からの感想文を頂きました。じどうもじで多くを考えて喜んでいただけた事にも嬉しく思います。心も身体も柔軟な若いとき、沢山の感動をして人生に活かしてほしいと思います。

山形でじどうもじ展

□ 廣寶山 長泉寺
山形県米沢市城南1-1
□ 10月14日(土)
〜15日(日)
午前9時〜午後6時
最終日は午後4時まで

気仙沼でマルシェ じどうもじ出展

□ 11月23日(祝)
午前10時〜午後14時
□ 気仙沼市(鹿折)錦町コミュニティーセンターにて

じどうもじとちびぐるみのコラボ展

第二回「じどうもじとちびぐるみ展」
□ 住まいるカフェ北四番丁 仙台市青葉区木町通1-1 ナイスロイヤルタワー北四番丁
十一月十日(金)
〜十二日(日)
◆ 全日程11時〜17時 三日間とも手書き在廊します

毎月の手書き 秋保木の家さんで

□ 秋保木の家(手しごと館) 宮城県仙台市太白区秋保町 湯元馬乙2-1
毎月最終日曜日に手書きしています。
□ 10時半〜15時
『今後の予定』
◆ 9月24日(日)
◆ 10月29日(日)
◆ 11月26日(日)
◆ 12月17日(日)
(年末は第三日曜日です)
■ お問い合わせ先 ■
☎090-6221-6611

この「じどうもじ新聞」はこれまでに「依頼をいただいた方々や縁を頂いた方へお送りしております。